



市大では、次に示す3種類の留学制度が提供・認定されており、学びたい科目や言語によって行き先を決定することができます。

- ・長期留学
  - ↓在学中に半年から1年間留学する制度。
  - 留学先で修得した単位を市大の単位として認定。
- ・短期留学
  - ↓長期休暇を利用した語学研修制度。
  - 認定留学
    - ↓学外のプログラムなどを自分で選んで留学し、申請により単位認定を受ける制度。

このページでは、主に市大が提供している長期・短期の留学について、実際に留学した方の体験談を交えながら紹介させていただきます。

### フランス

たなか みゆ  
田中美優さん



- ・留学時期：2回生後期
- ・滞在期間：8月29日～3月27日
- ・費用：150万円ほど
- ・留学の際に利用した制度：交換留学制度
- ・語学資格：英検2級

私はフランスの第二都市リヨンのリヨン第三大に留学しました。芸術に対して強い関心を抱いていたので、「芸術の国」と言われるフランスに留学しようと決めました。本当はパリに留学しようと思っていたのですが、パリの物価が高いこと、そして、パリよりリヨンのほうが治安が良いことを知り、リヨンを留学先に決めました。結果、リヨンに留学して正解でした。リヨンは「美食の街」と言われている通り、美味しい食べ物がたくさんある街です。リヨンには「ブション」という、手ごろなお値段でリヨンの郷土料理を食べられる小さなレストランがたくさんあります。とてもおすすめです。大学では、フランス人の学生と共にフランス語で行われる授業を受けるので、相当な語学力が必要で大変です。私の場合、大変でした。幸いなことに日本語を学んでいる学生や、日本の文化が好きで日本人に友好的な学生が多かったため助けられました。彼らには感謝しています。リヨンが一番好きな場所はソーヌ川沿いとフルビエールの丘の高台です。辛くなったり、行きついたら、心が落ち着きました。コロナウイルスの影響で、留学期間の途中で帰国してとても残念でしたが、事態が落ち着いたら、またリヨンを訪れようと思っています。



タイムスケジュール  
8時～15時 授業  
15時～ 買い物&勉強

### カナダ

いえはら ひろゆき  
家原裕幸さん



- ・留学時期：2回生9月
- ・滞在期間：1か月
- ・費用：50万円弱（生活費・食費などすべて込み）
- ・留学の際に利用した制度：GC副専攻のプログラム
- ・語学資格：TOEIC (IP約700点)

私は入学する前から1回生か2回生で一度は留学してみたいと考えており、その目的は英語を話せるようになることでした。ただ、初海外を一人で行くのは怖かったので、留学をプログラムに含むGC副専攻（注20ページプログラムにて説明を行なっております）をとることにしました。結果から言うと、語学力向上という当初の目的は思っていたほど果たせませんでした。非常に実りの多いものでした。私自身が一番変化を感じるのは自信を持つようになったことです。留学先で車酔いした際、スマホを使わずに酔い止めが欲しいことを人に伝えることができて、得意味で調子に乗ることができました。海外で1か月間生き残れたという事実もその自信につながっています（心優しいホストファミリーや心強い同期がいてこそでしたが）。もし海外へ行かれたことのない方がいたら、どのような形でもよいので一度は行って直接その雰囲気を感じてほしいです。最後になんかお話を1つ紹介して終わりたいと思います。“You never know what you can do till you try.”



タイムスケジュール  
7時 起床  
8時 登校  
8時～12時 授業  
14時～16時 プログラムに含まれるアクティビティ  
18時 夕食  
22時 就寝

**地図の見方**  
短期留学は□、長期留学は■、認定留学は○で示しています。また昨年度、各大学に留学生を派遣している場合には大学名の後に( )で人数を表示しています。

大阪市立大学は、大阪市の姉妹都市を中心とした世界中の26の国と地域にある200以上の大学・機関と学術交流協定を結んでいます。左の地図はその中でも主に短期・長期留学の派遣先となっている大学・機関の一覧です。また認定留学も含め、昨年度中に文学部生が留学している場合には、各大学名の後に人数を掲載しております。

なお、二〇二〇年度の短期留学は世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となりました。

### ドイツ

ながあ ありさ  
長尾亜里沙さん



- ・留学時期：2回生の夏休み
- ・滞在期間：1か月
- ・費用：50万円（うち8万円は夢基金）
- ・留学で利用した制度：ハンブルク大学サマー・スクール、夢基金
- ・語学資格：ドイツ語検定3級

ドイツに行くかと思ったのは、ドイツを含めたヨーロッパへの憧れからでした。旅行でもあまり海外に行ったことなかった私にとって、このサマー・スクールはとても刺激的で毎日がとても楽しかったです。

平日は大学で授業を受け、食堂でご飯を食べて、チュートリアル（共同での復習や宿題の時間）をし、放課後は近くの観光名所を散策したり、晩御飯を食へに行ったり、毎日ドイツ語に囲まれた生活でした。私のドイツ語のレベルは日常会話もままならない程度でしたが、授業で習った会話表現などを使いながらレストランで注文したり、駅の案内所で質問したりして、「ドイツ語を日常的に使う」という貴重な経験ができました。

休日は近郊の都市に行ったり、一泊二日でヘルリンを観光したりしました。その町、都市ごとに特徴や雰囲気があり、それらを比較しながら巡るのも楽しかったです。

私は、このサマー・スクールを通じて語学力や生活力が身についたのはもちろんですが、特に、異なる生活や文化を体験できたことが一番の収穫だと感じています。日本で当たり前にあったことがそこではなく、自分と異なる生活習慣や考え方を、身をもって知るといっては留学ならではの経験だと思えます。楽しいことはたくさんありましたが、それも含めて物事を見るときの視野が広がったので、行ってよかったなと思っています。



タイムスケジュール  
9時～12時 ネイティブの先生の授業  
12時～13時 日本人の先生の補講  
14時～16時 昼食  
16時～ チュートリアル  
自由時間

市大の留学情報はこのページだけでは収まりません。更に興味のある方は左側のQRコードから市大HPを覗いてみてください。

認定留学とは  
協定校一覧  
留学全般